



Subaru

男声合唱団

ニュース№688

19. 4. 8

昂よ！勇み歌え！千秋&昂コンサートの成功と <東京うたごえ合発>結果に自信を持とう！

4月5日

□ 4月5(金) 18:00~20:30 昂定例レッスンが開催されました。1月の東京のうたごえ祭典への参加、2月の「千秋&昂ジョイントコンサート」の開催成功と、昂にとって厳しい寒さの中での演奏活動を成功裏に終え、ようやくあたたかな春とともに、2019年度の新たなるうたごえの活動に力を入れる時期になってきました。

5日の定例レッスンでは佃さんの体操、吉岡さんの滑舌レッスン、千秋さんのヴォイストレーニングに始まり、門万沙子さんのピアノ伴奏のもと、本並先生の指揮で、まず、「日々草」(2005年広島祭典1位次席受賞・2006年第2回コンサート・2017年第11回コンサート曲)「見上げてごらん夜の星を」(アカペラ曲)「歓びのナーダム」をレッスンしました。休憩・報告をはさんで、引き続き、本並先生の指揮で、「創作フェスタ」でうたう「地雷ではなく花をください～この空に風が光る～」を、つづいて、「死んだ男の残したものは」「母なる沃尔ガを下りて」「I've Got Sixpence」をレッスンしました。参加者は全38名でした。



□ 大阪北部センター合唱団 機関紙
「♪はもらへん？」3月号に、松島正行さんが、昂コンサートの記事を載せていただきました。(講評と共に写真付き!)ありがとうございました。

□ジョイントコンサート感想文

「ジョイントコンサート」に対して多くの方々が「アンケート」に心のこもった感想を寄せていただきました。そのなかから、合唱曲に対する技術的な問題点について特にご指摘をいただいた方の感想文を2・3掲載します。(お名前はアルファベット

はもってみない? はもってへんで! はもらう☆ 大阪北部センター合唱団 機関紙
2019年 3月号

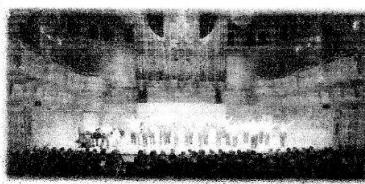
♪はもらへん?

一人一人を大切に、輝けるように。。。元気で明るい、そして温かい合唱団を目指しているそんな、あなたの左手に白く輝く「はもらへん?」

男声合唱団昂のコンサート

バス 松島 正行

今回のコンサートは団長千秋さんと男声合唱団昂のジョイントコンサートとして取り組まれ、2月22日いすみホール(821席)18時30分満席の中開演。第1部「春を待つ」言葉もしっかりと伝わりオープニングにふさわしい選曲だった。続く挑戦曲「浜辺のうた」しっかりと抑揚もあり、ハーモニーの響きがとても心地よかった。また昂が歌い込みを重ねて来た曲もあり「ねがい」は何回聞いても感動させてくれました。「夕焼け」良かったですが、他の曲に比べると練習不足かなと思った。



第2部は千秋さんのオンステージ8曲を次々に演奏。どの曲も千秋さんの思い入れの入った曲ばかりだったと思います。最初に歌われた「俺は枕木」私にとって、20代前半うたごえに関わり出した若い頃、良く歌っていた事を思い出させてくれました。どの曲も共通して感じたのは、あの高い透き通った声でホール全体を包み込む響きに感心させられ私は満足した。

もうひとつのが心事、千秋さんの地元大東市を中心にして200枚超えるチケットを広げられた頑張りやさんだという事です。

第3部はガラッと雰囲気を変えて動きもあり、回転ソロ、デュエット、全団振付、と楽しいステージが続きました。心配されていた振付、良く揃っていました。伊藤さんのソロ、印象に残りました。

私は昂のコンサートには、いつも沢山の刺激と元気を貰っています。昂の皆さんお疲れ様でした。

ステキな演奏ありがとうございました。次回2020年5月のコンサートを楽しみに待ります。

で記しました。)

No. 1 Tさん 合唱経験：有

＜第1部＞ 30数名の男声が揃うのを見たのは久しぶりです。歌い出しへ細心の注意を！

ハーモニーがとれてよかったです。欲をいえば低音部・地声が混じる。一人ひとりが自分の最良の声を出し切れていない気がしました。全体的な声量、圧倒感が欲しい。行儀正しい！というだけでは労働歌等では物足りないのでは。

No. 17. Kさん 合唱経験：有

＜第1部＞ 「鼎」さんはやわらかなハーモニーと発語の、声をとけあわせる曲を歌うのがコンサートのたびごとに上手になられます。ところどころ地声が出たり、パートないしパート間のタテ線がそろわない（走ってしまうのが原因かと思われる）のが残念です。焦らずおちついて息をよく流して「カンブレ」をしっかりとやって、フレーズのラストまでテンポと音のうごきを保つてうたわれると、もっとすてきな演奏になりますよ。「夕焼け」が情感があつて白眉でした。多田武彦もがんばってくださいね。

＜第2部＞ このように長い曲、メロディも歌詞も難しい曲を全て暗譜するだけでも大変なのに、それぞれの曲に思いを込め、音楽的な推敲も重ねて、細部までこだわって全力を込めて歌われたことに深甚の敬意を表します。手をふってのごあいさつは、さすが元市会議員。そのお仕事の中で培われた弱い者や貧しい者に寄り添う心、平和を希う心をよく表現されたと思います。すばらしい第二の人生ですね。ますます歌い続けてください。

＜第3部＞ 迫力のある演奏でした。1曲目は半音か1音高くてもよかったです。全体として音符が細かいところで走ってしまう傾向があり、揃わなかったり、伴奏と合わなかったところがあったのと、小節線でも「いっぷく」してしまうために4(3)拍目から1拍目の音のうごきが欲しいところで、残念！というところがありました。ダイナミックレンジももっときかせたいですね。歌い手のみなさんの音楽の感じ方をさらに磨かれると、もっとすばらしい演奏になりますよ。

No. 31. Nさん (声楽講師)

＜第1部＞ 「春を待つ」暖かさを感じる素敵なおだしで始まり、オープニングGoodでしたね。

「浜辺の歌」：練習を積まれた成果が出ていて気持ちよく聴かせていただきました。

「ねがい」：歌い慣れておられる曲ですが、やはり難しいですよね。声の色合いの変化がもう少しあればと思いました。日本語の発音がそろわない時は気になりました。

「夕焼け」：皆さん最後まで心配されていた曲だと思います。これは完成させるにはもう少し時間が必要でしょうか？特に低音部のピッチ、発音の処理、音色が気になりました。

＜第2部＞ 千秋さんおめでとうございます。心のこもったすばらしい歌声、練習を重ねられてさすがです。「ヨイトマケの唄」に涙しました。この曲は大好きでなので、とても楽しみにしておりましたが、心を打つ歌ありがとうございました。

オリジナルの曲、森先生とのコラボ感動致しました。

アリアもステキでした。「君死に・・」コンクール全国大会もお疲れさまでした。良い部分とまだ乱れる部分と、ち密度アップはむつかしいですね！

＜第3部＞ 「橋をつくったのは・・」：演出・振り付けも楽しいですね！ピアノとズレるのは？

でも楽しさがカバーで！会場が沸いて第3部オープニングにふさわしいと思いました。

「航路」：テナーレッスンでの部分部分パズルのようにはまって全体像が今日は見えて、曲の持つ味も感じ取れました。

「朝露」：韓国語の歌詞暗譜も大変だったと思いますが感動しました。皆さんも気持ちよく歌われたのではと思います。「SIYAHAMBA」：動きのある楽しいステージありがとうございました。すごく良かった！！！

＜その他＞ アンコール連弾でステキなアレンジ2曲とも。皆様の歌声が若々しくステキなステージでしたね。

(続き：メールにて)昨日のコンサートの感想はアンケートに少し書かせて頂きましたがメールで補足させていただきますね。まずは大成功演奏会として素晴らしいと思います。

コンクールではないのでお客様が来て良かったと思える内容まずはここが大事ですよね。

プログラム何度も推敲されて運営や企画やいろんな面で大変だったと思いますが、歌い慣れておられる曲、チャレンジされた曲、バランスよく・暗譜・外国語もあり、それぞれに努力されての結果、助け合って実力も発揮されておられ、細部は気になることいろいろありますが、全体的に集中力もあり、練習の積み重ねで良い部分たくさん出ておられたと聴き入りました。とても素晴らしいジョイントの演奏会だったと思います。

「春を待つ」……暖かさの感じる素敵な出だし惹き込まれましたよ。1曲目が素敵だと聴く側も気持ちが良いものです。響きも綺麗。

「浜辺の歌」……低声部からスタートですから音程がもっと丁寧なら良かったですのにちょっと残念。でも、声部がわかれだと、なかなか良いハーモニー心地よい部分も多かった。「あ」母音で伸ばす音はちょっと発音気になりました。息が落ちている部分もあって。でも練習の成果は出ているな～と聴かせて頂きました。

「ねがい」……追求するほどに難しい曲だと思います。でもユニゾン美しい部分多かったし細かい音程転調に向かって行く部分もそれほど違和感なく、音楽は流れていき、日本語の発音が発語が揃う部分もっと欲しかったです。音色の変化もう少しあると、詩がもっと伝わったかなと感じました。

「夕焼け」……これはまだ消化しきれないままにステージに乗ってしまった気がしました。やはり出だし低声部音程・発音気になりました。最初は印象に残るので、もっと緻密じゃないと、ばらいろ「ば」の前に完全に(ん)が入っていましたし「～んばら色」と聴こえました。全体的に聴いていてハラハラドキドキしましたが音楽の広がり・流れは本並先生の指揮で、自然にまとめられていて、もつたりした感じもなくて良かったです。

＜第2部＞千秋さんの熱いステージどれも感動致しました。「よいとまけ」涙が滲みました。

「君死に～」に関しては、何度も歌っておられますし、これ1曲だけというのではない演目の中で、集中力高めるのは難しいだろうなあ、と聴いていて思いました。

＜第3部＞全体的に楽しく「SIYAHAMBA」これは思いっきり楽しいステージでしたね！皆さん振り付けも頑張られて素晴らしい。

☆橋を作ったのはこの俺だ」……これはピアノとズレる部分が気になりましたが個々に頑張っておられる部分も楽しいスタートで良かったです。

☆「航路」……これは日本語の発音もう少し研究されたほうがいいなと思った箇所もありました

が美しい部分も多かった。

☆「朝露」……韓国語の暗譜もお疲れ様でした。感動的に歌い上げられて ジンときました。

アンコールは 「このみち」 ……爽やかで 気持ちよかったです。でも やっぱり最後のロングトーン 切る瞬間に落ちる息で 音程が 最後に下がる方の声が……支えのない終わりが ちょっとぴりですが残念

「昴」……やっぱり この曲あると 終わりだな そして 昴は これからも発展するな という気持ちになりました。

「昴」 うたごえ 70周年記念「東京祭典合唱発表会」は「惜敗！」

音楽に勝ち負けはありませんが、“コンクール”にはあるようです。「合唱発表会」だけがうたごえではありませんが、「良き評価」はレッスンの励みにもなります。今回の「昴」の「君死にたまふことなかれ」の「東京合発」は「惜敗！」といえましょう。「勇気百倍！昴よ！勇み歌おう！！」

合唱発表会審査委員採点表（一般の部B）

出演順	出演団体	田中嘉治	石垣潔	岩本達明	小村公次	長森かおる	新美佳三	長谷川琢磨	合計	平均	順位	表彰	表示順				
		点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数									
26	埼玉合唱団	9.5	1	9.9	1	9.6	1	9.0	4	9.2	2	9.4	2	66.2	9.46	1 金賞 1	
42	三多摩青年合唱団	9.3	4	9.3	7	9.1	5	9.4	1	9.3	1	9.4	2	9.7	1 65.5	9.34	2 金賞 2
7	関西合唱団	9.4	2	9.3	7	9.5	2	9.0	4	9.0	3	9.3	4	9.2	8 64.7	9.24	3 金賞 3
36	綱の道合唱団	9.0	7	9.9	1	9.4	3	9.1	3	8.9	5	8.7	16	9.5	3 64.5	9.18	4 銀賞 4
28	仙台合唱団	9.4	2	7.5	28	9.1	5	9.2	2	8.8	9	9.1	6	9.3	5 62.4	9.10	5 銀賞 5
18	広島合唱団	8.8	10	9.7	3	8.9	12	8.9	8	8.8	9	9.3	4	9.0	10 63.4	8.98	6 銅賞 6
12	奈良織の会合唱団	8.5	23	9.3	7	8.9	12	8.0	24	8.7	14	9.5	1	9.3	5 62.2	8.94	7 銅賞 7
31	山形センター合唱団	8.6	19	9.1	12	9.1	5	8.9	8	8.9	5	8.8	12	8.9	13 62.3	8.92	8 銅賞 8
15	南部合唱団	8.7	14	8.8	16	9.0	9	9.0	4	8.8	9	8.9	9	8.9	13 62.1	8.88	9
23	名古屋青年合唱団	9.3	4	8.9	15	8.7	18	8.8	11	8.6	21	8.9	9	9.0	10 62.2	8.86	10
21	男声合唱団昴	9.2	6	9.7	3	8.8	16	8.5	14	8.9	5	8.4	26	8.6	21 62.1	8.80	11 惜敗
29	神奈川合唱団	8.5	23	7.5	28	8.9	12	9.0	4	8.8	9	8.8	12	9.1	9 60.6	8.80	11
14	コール大東	8.8	10	8.4	18	9.1	5	7.9	28	9.0	3	9.0	7	8.7	17 60.9	8.78	13
22	北海道合唱団	8.9	9	9.3	7	8.5	21	8.4	16	8.7	14	8.5	20	9.3	5 61.6	8.78	13
3	中央合唱団	8.8	10	9.3	7	8.8	16	8.5	14	8.7	14	8.6	17	8.8	15 61.5	8.74	15
6	合唱団この灯	8.5	23	9.5	6	9.3	4	7.8	31	8.3	35	8.5	20	9.0	10 60.9	8.72	16
38	合唱団ききゅう	8.7	14	9.1	12	8.9	12	8.4	16	8.8	9	8.1	34	8.7	17 60.7	8.70	17
27	河南混声合唱団	8.7	14	7.8	24	8.2	26	8.9	8	8.7	14	8.8	12	9.5	3 60.6	8.66	18
30	合唱団みどり	8.7	14	7.9	22	9.0	9	8.7	12	8.7	14	8.5	20	8.7	17 60.2	8.66	18
20	函館トロイカ合唱団	9.0	7	8.1	20	7.9	31	8.7	12	8.7	14	9.0	7	8.3	26 59.7	8.56	20
16	東京紫金草合唱団	8.3	29	9.6	5	8.6	19	7.5	38	8.4	28	8.6	17	8.8	15 59.8	8.54	21
41	西宮さくらんば合唱団	8.6	19	8.6	17	8.6	19	8.2	19	8.9	5	8.3	29	8.4	24 59.6	8.50	22
35	合唱団白樺	8.5	23	7.9	22	9.0	9	8.1	23	8.7	14	8.1	34	8.7	17 59.0	8.42	23
2	長野合唱団	8.7	14	7.5	28	8.1	28	8.2	19	8.6	21	8.5	20	8.2	27 57.8	8.32	24
40	京都都ひまわり合唱団	8.6	19	9.0	14	7.6	38	8.3	18	8.4	28	8.0	38	8.2	27 58.1	8.30	25
32	いのちのうた合唱団	8.3	29	7.1	42	8.2	26	8.0	24	8.6	21	8.6	17	8.2	27 57.0	8.26	26
19	埼玉東部合唱団レインボー	8.6	19	7.4	31	7.9	31	7.8	31	8.4	28	8.5	20	8.5	22 57.1	8.22	27
24	中津川年金者合唱団満天星	8.3	29	7.2	40	8.0	29	8.2	19	8.5	24	8.8	12	7.9	32 56.9	8.18	28
9	宇都宮センター合唱団	8.0	37	7.4	31	8.3	25	8.0	24	8.4	28	8.2	31	8.4	24 56.7	8.18	28
4	東葛合唱団はるかぜ	8.8	10	7.6	27	8.4	24	7.4	42	8.5	24	8.9	9	7.5	35 57.1	8.16	30
1	立命館大学「若者」OB合唱団	8.5	23	7.8	24	8.0	29	7.8	31	8.2	38	8.0	38	8.5	22 56.8	8.10	31
34	平和の旅へ合唱団	8.2	34	8.2	19	7.7	35	8.2	19	8.5	24	8.1	34	7.4	37 56.3	8.08	32
10	浜松センター合唱団	8.0	37	7.3	33	8.5	21	7.9	28	8.2	38	8.3	29	8.0	30 56.2	8.08	32
25	「悪魔の飽食」福井合唱団	8.3	29	7.3	33	7.5	41	7.7	35	8.3	35	8.5	20	8.0	30 55.6	7.96	34
39	北村山レインボー合唱団	8.1	35	7.8	24	7.7	35	7.9	28	8.4	28	8.2	31	7.4	37 55.5	7.94	35
5	千葉から愛と平和を！合唱団	8.1	35	7.3	33	8.5	21	7.5	38	8.4	28	8.4	26	7.3	39 55.5	7.94	35
17	洛北青年合唱団	8.4	28	7.3	33	7.6	38	7.5	38	8.5	24	8.2	31	7.9	32 55.4	7.92	37
11	合唱団「樹」	7.9	40	8.0	21	7.8	33	7.7	35	8.0	42	8.4	26	7.7	34 55.5	7.88	38
33	名護青年合唱団うたの手	8.3	29	7.2	40	7.6	38	7.8	31	8.4	28	8.0	38	7.5	35 54.8	7.84	39
37	九州青い空合唱団	8.0	37	7.3	33	7.8	33	8.0	24	8.3	35	8.0	38	7.3	39 54.7	7.82	40
13	合唱団おとくに	7.9	40	7.3	33	7.7	35	7.5	38	8.1	41	8.1	34	7.2	41 53.8	7.70	41
8	金沢紫金草合唱団	7.8	42	7.3	33	7.5	41	7.6	37	8.2	38	8.0	38	7.0	42 53.4	7.64	42

合唱発表会 オリジナルコンサート 各部門総評

※各部門の審査・講評委員会責任者執筆

一般の部A(19人以下)

求められる、演奏の質

出場団体数は42、期せずして一般の部Bと同数であった。これを比較したとき、冒頭から苦言になってしまったが、率直に、A部門全体の印象としては演奏の質が低い、と言わざるを得ない。部門の人数規定を変更したために、かつてA部門で優れた演奏を示していた団体がB部門に移行したことは否めないが、その合唱団に合った合唱表現、選曲、活き活きとした演奏があらためて求められると言える。

上位入賞団体に男声合唱団が2つ、女声合唱団も入っている。また、神奈川県立厚木西高等学校合唱部をはじめ、九州青年合唱団、比較的の青年団、など若々しい伸びやかな声の合唱団が上位を占めた。

それらの共通語は「合っている」ということだ。合唱は声の表現である。声部のバランス、音程、ワントーンではない音楽的なふくらみ、聴き合うこと、が必要。一生懸命歌い過ぎてかえつて意味が伝わらない、言葉が聞き取れない、等々様々

一般の部B(20人以上)

何を表現したいかを深める

42団体が出演。前々回から人數制限による出場枠が広がったことにより、今回は昨年よりさらに5団体増え、一般A(19人以下)と同数となる。A部門からB部門に移行した団体の一部が入賞を果たしているが、互いに刺激になつてよか

う伝えたいか、合唱団の今後につながる選曲を心掛けたい。

合唱団の男女の構成、特に男性が少ない合唱団、あるいは10人前後の合唱団でいかに豊かな響きを実現するか、現状では人數による音楽の伝わり方の差は大きい。バランスの取れた合唱を実現するためには指導者の音楽つくりも重要なが、実情を前向きにとらえた合唱団のまとまり、どういう合唱団を目指すか、活き活きとした演奏には歌い手一人ひとりの表情は欠かせない。団員の確保は困難な課題であつても、新しい世代の獲得も含めて、全員で考える、避けては通れない道であろう。合唱発表会全体を互いに学び合うことによってその可能性、展望は大いにあふる、と言える。

その合唱団の力量と今後につながる選曲もあらためて大切と言える。段階にあつた選曲は良い演奏につながる。人數に応じたアンサンブルを。背伸びをした選曲、あるいは安易な選曲も気になつた。賞を目指すのではなく、今後に生きる選曲を、という発言もあつた。その合唱団が何を表現したいか、何を主張し、ど

しませることにも意を注いでもいいのでは?。各団体とも技術が高いのでもつとア・カペラがあつてもいいか」という意見が出された。

全体的に、著名な作曲家に委嘱した曲の発表がある一方でシンプルな曲もあり、バラエティーで多彩であるのはいいが、それぞれに背景、ねらい等、限られた時間内で何を表現したいのかを深めることが重要であり、その位置づけが弱いと思われる団体も少なからずあつた。人數も多力もある団体が、意外とハーモドルの低い選曲になつてするのが散見されることはとても惜しい。声に関する問題は、ホールの響きの問題があるかもしれないが、声が固く、明るい響きでハーモニーをクリアに表現する技術をもつと習得してほしい。特に一部では、素晴らしい女声に対して男声が壊しているところもあつた。

かなりの団体がピアノの位置を下振りにしていたが、響きのポイントをどこに作るのか苦労したのではないか。演奏は生き物だから、刻々と変化していく中で、ピアニストの力量とも絡まって演奏の現在進行形の中で音をどう創っていくのか。リハーサル会場とは違うだけに本番のステージで演奏するときの指揮者の役割は大きい。

文責・田中嘉治